

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

オオウバユリに思う（1）

先月から今月にかけて、発芽してから長い歳月をひたすら地下の鱗茎を太らせることに費やします。そして6～8年経って初めて、30センチ以上もある葉の付け根から花茎を伸ばし、背丈ほどに立ち上がります。先端に大きな長円形の固まりが出来て肥大した後、20個近いユリのような花を横向きに咲かせる多年草です。他の球根や多年草と違って、蓄えた鱗茎の養分をこのときすべて使い果たし、一生に一度だけ花を咲かせて種をつけます。元の鱗茎は細って絶えますが、子孫になる小鱗茎を残すことも忘れません。このふたつの繁殖方法でしたたかに生き抜いてきましたが、先住民族の知恵を忘れてはいけません。（かわはら）

アジサイの季節が始まりました。

6月に入って本州では紫陽花の話題がTVで放映されますが、北国ではこれからが本番です。バラが咲き終わり、紫陽花へと花のリレーが始まるとよく耳にするのが、「咲かない」「色が変わる」など質問が届きます。ガーデンで求められている紫陽花は品種の多さと華やかさが人気の様です。紫陽花は日陰が好きというイメージですが、程よい日照で株に力がつき購入後の植え替えは二回りほど大きめな鉢が良いです。植え替え時には肥料を入れて水遣りをタップリして水枯れさせない様にしましょう。花後上から二節目の芽がある節で切ると、来年の花芽を確保出来ます。夏以降に切ると来年の花は見られません。（たかはし）

家庭菜園・・・

いよいよ収穫も最盛期になってきました。今年の出来は如何でしたか？5月中～6月の初旬、苗を植える時期、日中温度は育成温度に達していたのですが夜の温度が上がらず、この時期良い年は7～10℃ですが、今年は3～4℃と低温で苗も萎縮し発根が遅れ、皆さんヒヤヒヤでしたでしょうね。それでも6月中旬～7月には気温も上がり、何とか収穫にこぎつけたと言ったところですね。私は、春先の長期予報を参考に、寒さ対策と地温を上げるために土上にはマルチ、苗の上にはトンネルを掛けて万全を期しました。春先、家庭菜園を始めるに当たって苗を植える前にする一番大切なのは、土（畑）作りですが、それと同時に複数の報道機関の長期予報を確認して、気温が上がるのは何時頃かを見極めなければならないのです。毎年何月何日に植えているから今年もと言う考えは通じないと思います。それでも早く植えたい場合は、それなりの対策が必要です。（ながやす）



イケマ

イケマという植物をご存知だろうか？ハート型の葉のつる植物で、初夏に藪草に巻き付いた蔓の葉元から白いたくさんの小花が直径3センチほどの丸いぼんぼりのように咲きます。アルカロイドを含みアイヌの皆さんにとっては有用な魔除けにも使う植物です。岩見沢では見たことがなかったのですが、はじめて一か所生育場所を教えてくださいました。どうぞ、情報がありましたら教えてください。個体数が少なくなっているし、切り口から出る白い液は中毒性があるのでむやみに取らないように。（きのした）

*「今月の便り」次ページへつづく⇒

ウツボグサ

今年、バラ園の芝生のあちこちに紫の花がたくさん咲きました。ウツボグサです。群生してかわいらしく咲いています。ウツボグサはシソ科の多年草で日本各地の日当たりのよい山野の草地によく見られます。6～8月になると、茎の頂に長さ3～8cmの花穂が現れ、唇のような形をした紫色の花が密集してつきます。花穂の上から開花し、いちばん下に小花が咲くころには、上のほうは枯れ始めて茶褐色になっています。本格的な夏には、枯れて黒っぽくなったまま、花穂をいつまでも残しているのが特徴です。ランナーを出してふえますがこぼれ種でもよく増えます。花色はふつう紫ですが、まれに薄いピンクや白花のものもあります。

(いとう)



バラ園

バラだって、夏休み取りたい～い！

9月中下旬ごろから、1年のなかでいちばん色と香りが濃く質感の良い秋バラが楽しめます。咲き揃った美しい秋バラを一輪でも多く見て戴けるよう、お盆くらいから切り戻しをします。ですので、しばらくの間園内は少しさみしくなりますがご容赦ください。

切り戻しの目安は、フロリバンダ系統で咲かせたい時期の30日前、ハイブリッドティー系統で45日前と云われていますが、これはあくまで夜温15℃を基本とした考えということなので、気温が徐々に下がる北海道では、その年の気候により異なりますが+α早めに切り戻したほうが良いでしょう。

バラの適温は15～25度。そして、花を咲かせるということはとてつもないエネルギーを消費します。自分の体に合わない暑い温度のなかで相当の体力を消耗する・・・ご自分に置き換えて考えたら・・・想像つきますよね？夏バテや余計な疲労をさせないためにも、切り戻しは必要なのです。ご自宅でバラを栽培している方も、お庭のバラを長くお付き合いしたいのなら、花を見たい気持ちはグッとおさえて、夏場の花芽はカットしましょう。そうすれば、その代わりに秋深くなるまでバラの開花が楽しめますよ。



【知恵袋】水中花・・・蓮(はす)と睡蓮(すいれん)

バラ園の奥まった所に小さな池(修景池)がありますが、6月終わりから8月初旬まで「蓮と水蓮」が咲きますが、「蓮と睡蓮」見分けられますか。

始めに共通点は、両方とも抽水(ちゅうすい)植物といって、水の底の土や泥に根を張り、水面に葉と花を展開します。また花も同じ性質があり、日中に花びらが開き午後になると閉じます(蓮と睡蓮では時間が少し違います)。これを3日繰り返して花の寿命は終わりです。しか～し、3日間の寿命ですが、夏場には次から次へと蕾が現れ花を咲かせ楽しめます。見分け方は、葉っぱです。睡蓮も蓮も葉は円形ですが、よく見ると睡蓮の葉には切れ込みがあり浮葉と言って水に浮いていますが、蓮の葉には込みがなく、葉は茎が伸びて、水の上にあります。

最後に、花での見分け方は、水面近くで咲くのが「睡蓮」、水面より高く伸びて咲くのが「蓮」です。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第六十三回

ハイブリッドムスクローズ

アンネリーズ

Annelies

作出国：ベルギー

作出者：Lens

作出年：2000年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：不明

バラ園入口のウェルカムガーデンから整形式ローズガーデンに向かう道、ちょうどコーナーの法面に植えているのがアンネリーズです。やや遅咲きで、7月初旬ごろに直径3～4cmほどの口ゼット咲きの小花をたくさんつけます。つぼみは薄ピンク色、咲き始めはほんのりピンクを帯び、咲き進むと白になります。晴れた日には澄み渡った夏空に白花とライトグリーンの葉っぱが良く映え、やっと訪れた北海道の遅い初夏を称えているかのようです。ハーディネスゾーンナンバー6で少し高めですが、当園では植栽場所が建物の影ということもあり、問題なく越冬できています。耐寒性に優れたハイブリッドムスク（以下HMsk）系統なので、雪の少ない地域については何とも言えませんが、北海道でも耐寒性・耐病性についてはほぼ問題なさそうです。当園では自然樹形で栽培していますが、枝が良く伸びトゲも比較的少ないのでアーチなどへの仕立てもしやすいでしょう。

作出者はベルギーの Louis Lens 氏です。父 Victor Lens 氏より Lens ROSES を受け継ぎ育種を開始しました。作出品種の多くは HMsk 系統です。育種で重視していたことは、繰り返し咲き性、強健性、優雅で自然な立ち、ヒップの結実性ということ

で、バラに求めるものが HMsk 系統に集約されていったのかもしれませんが、同系統の代表品種とも云える Ballerina をよく育種に使用したという記述もみられましたが、本品種の交配は不明です。

HMsk 系統といえば思い浮かぶのがイギリスの Pemberton 氏ですが、特別な手入れが要らなく強くてナチュラルな Lens ROSES もガーデナーに人気です。ベルギーのナーセリーでは、雨水を貯めて再利用したりソーラー発電をしたりなどの資源の有効利用や、天敵を利用して病害虫の防除をするなど、持続的な栽培と生命のバランスを保つための取り組みを積極的に行っています。“資源には責任をもち、土壌は敬意をもって扱う”。とても手間のかかり気苦労のたえない大変なことですが、とても大切なことだと思いますので、Lens ROSES の取り組みが今後スタンダードになってゆけば良いと感じます。当園も無農薬栽培ですので、このよう取り組みには非常に共感します。また、2～3月に剪定のデモンストレーションを行ったり、開花期には定期的にガイド付きのローズウォークを開催したりと情報発信にも努めています。11月には花ではなく実を楽しむローズヒップデーというイベントもあるそうですよ。

いわみざわローズフェスタ 2019

IWAMIZAWA Rose Festa

9/21^{SAT} ▶ 10/20^{SUN} 9:00 ~ 17:00

秋

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 8月24日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ⑥北海道のバラハマナスの魅力に迫る!
料金:無料 定員:40名 講師:工藤 敏博さん ローズグローワー
- 8月25日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理
料金:無料 定員:40名 講師:川原 元信さん 川原花木園
- 9月8日(日) 13:00~15:00 ミニ盆栽を仕立てよう
料金:2,000円 定員:20名 講師:君島 信博さん 草つ月
- 9月22日(日) 13:00~15:00 バラ管理スタッフのローズツアー
料金:無料 定員:40名 講師:バラ園スタッフ
- 9月23日(祝月) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方
料金:無料 定員:40名 講師:伊達 佐重さん 北海道自然保護協会
- 9月28日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ⑦至高の秋バラをローズグローワー工藤敏博と巡る
料金:無料 定員:40名 講師:工藤 敏博さん ローズグローワー
- 9月29日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント
料金:1,000円 定員:20名
講師:大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー